

倉吉市国民健康保険
ポテンシャル分析
概要版

令和2年3月
倉吉市

医療費分析取り組みの背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求める」としています。また、データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果や診療報酬明細書等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととあります。

本ポテンシャル分析では「医療費」「患者数」「重症疾患患者数」「多受診患者数」「ジェネリック医薬品普及状況」「薬剤併用禁忌対象者」に至るまで、様々な角度から倉吉市国民健康保険を分析し、課題の洗い出しを行います。これらの結果を受け、対策が必要と判断した課題に対し、データヘルス計画にて策定した事業の実施に活用することとします。

※データ分析期間

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成30年3月～平成31年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)。

基礎統計

当医療費統計は、倉吉市国民健康保険における、平成30年3月～平成31年2月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外・調剤レセプトを対象とし分析しました。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りです。被保険者数は平均9,889人、レセプト件数は平均13,396件、患者数は平均5,677人となりました。また、患者一人当たりの医療費は平均54,834円となりました。

基礎統計

		平成30年3月	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月	
A	被保険者数(人)	9,426	9,610	9,659	9,725	9,790	9,849	9,904	
B	レセプト件数(件)	入院外	7,956	7,469	7,627	7,502	7,628	7,296	7,024
		入院	254	282	295	285	275	262	257
		調剤	6,089	5,743	5,870	5,690	5,796	5,549	5,310
		合計	14,299	13,494	13,792	13,477	13,699	13,107	12,591
C	医療費(円) ※	327,877,310	305,741,250	334,033,180	314,100,430	334,332,090	325,516,370	288,720,590	
D	患者数(人) ※	5,941	5,712	5,782	5,700	5,726	5,595	5,428	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	34,784	31,815	34,583	32,298	34,150	33,051	29,152	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	22,930	22,658	24,219	23,306	24,406	24,835	22,931	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	55,189	53,526	57,771	55,105	58,388	58,180	53,191	
B/A	受診率(%)	151.7%	140.4%	142.8%	138.6%	139.9%	133.1%	127.1%	
D/A	有病率(%)	63.0%	59.4%	59.9%	58.6%	58.5%	56.8%	54.8%	

		平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月	平成31年1月	平成31年2月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	9,975	10,044	10,144	10,235	10,312	9,889		
B	レセプト件数(件)	入院外	7,766	7,398	7,361	7,311	7,100	7,453	89,438
		入院	280	267	249	242	242	266	3,190
		調剤	5,901	5,619	5,600	5,570	5,392	5,677	68,129
		合計	13,947	13,284	13,210	13,123	12,734	13,396	160,757
C	医療費(円) ※	332,950,960	308,843,270	303,695,920	287,970,100	271,413,760	311,266,269	3,735,195,230	
D	患者数(人) ※	5,853	5,646	5,611	5,620	5,504	5,677	68,118	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	33,379	30,749	29,938	28,136	26,320	31,475		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,873	23,249	22,990	21,944	21,314	23,235		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	56,886	54,701	54,125	51,240	49,312	54,834		
B/A	受診率(%)	139.8%	132.3%	130.2%	128.2%	123.5%	135.5%		
D/A	有病率(%)	58.7%	56.2%	55.3%	54.9%	53.4%	57.4%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成30年3月～平成31年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

高額レセプトの件数及び割合

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとして、以下の通り集計しました。高額レセプトは月間平均117件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占めます。高額レセプトの医療費は月間平均1億1,153万円程度となり、医療費全体の35.8%を占めます。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成30年3月	平成30年4月	平成30年5月	平成30年6月	平成30年7月	平成30年8月	平成30年9月
A	レセプト件数(件)	14,299	13,494	13,792	13,477	13,699	13,107	12,591
B	高額レセプト件数(件)	118	120	118	123	126	124	113
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%
C	医療費全体(円) ※	327,877,310	305,741,250	334,033,180	314,100,430	334,332,090	325,516,370	288,720,590
D	高額レセプトの医療費(円) ※	114,161,810	104,851,750	122,896,730	116,118,370	131,295,840	125,760,060	100,941,030
E	その他レセプトの医療費(円) ※	213,715,500	200,889,500	211,136,450	197,982,060	203,036,250	199,756,310	187,779,560
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.8%	34.3%	36.8%	37.0%	39.3%	38.6%	35.0%

		平成30年10月	平成30年11月	平成30年12月	平成31年1月	平成31年2月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	13,947	13,284	13,210	13,123	12,734	13,396	160,757
B	高額レセプト件数(件)	123	123	119	106	94	117	1,407
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.9%	0.9%	0.8%	0.7%	0.9%	
C	医療費全体(円) ※	332,950,960	308,843,270	303,695,920	287,970,100	271,413,760	311,266,269	3,735,195,230
D	高額レセプトの医療費(円) ※	122,244,470	109,687,730	108,053,240	95,437,600	86,946,230	111,532,905	1,338,394,860
E	その他レセプトの医療費(円) ※	210,706,490	199,155,540	195,642,680	192,532,500	184,467,530	199,733,364	2,396,800,370
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	36.7%	35.5%	35.6%	33.1%	32.0%	35.8%	

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費算出。
 ※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。
 ※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

高額レセプト患者の疾病傾向

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 膝尾部癌	48	139,377,170	57,447,190	196,824,360	4,100,508
2	0903	その他の心疾患	非弁膜症性心房細動, 慢性心不全, 特発性拡張型心筋症	30	79,370,710	36,628,220	115,998,930	3,866,631
3	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 踵骨骨折, 膝蓋骨開放骨折	28	49,052,710	11,538,140	60,590,850	2,163,959
4	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 幽門前庭部癌, 胃前庭部癌	27	61,008,630	40,149,620	101,158,250	3,746,602
5	0906	脳梗塞	心原性脳塞栓症, 血栓性脳梗塞, ラクナ梗塞	25	43,810,780	6,045,920	49,856,700	1,994,268
6	1113	その他の消化器系の疾患	単径ヘルニア, 両側単径ヘルニア, 便秘症	24	22,820,440	7,254,090	30,074,530	1,253,105
7	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態, 妄想性障害	22	49,761,590	6,445,020	56,206,610	2,554,846
8	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	壁内子宮平滑筋腫, 卵巣腫瘍, 続発性骨髄線維症	21	28,426,770	16,883,300	45,310,070	2,157,622
9	0902	虚血性心疾患	不安定狭心症, 狭心症, 急性下壁心筋梗塞	19	39,256,400	8,881,610	48,138,010	2,533,579
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 上葉小細胞肺癌	18	51,558,830	19,349,140	70,907,970	3,939,332

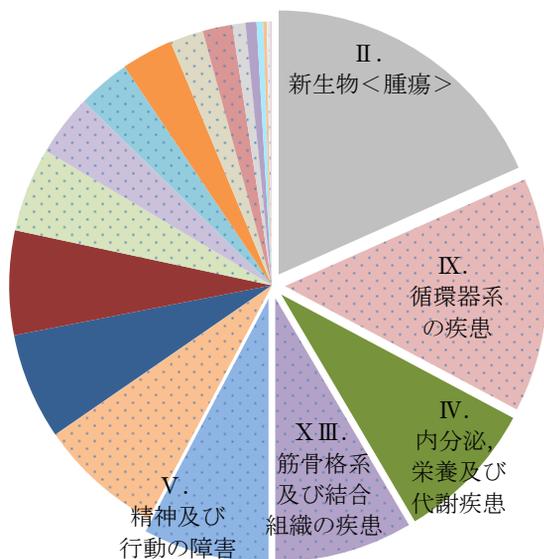
※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。
 ※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。
 ※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。
 ※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

大分類による疾病別医療費統計

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「精神及び行動の障害」の医療費が高い割合を占めています。

※大分類…疾病罹患の状況を概括できるようにした疾病分類表に基づく分類。

疾病項目別医療費割合(平成30年3月～平成31年2月診療分)



大分類による疾病別統計(平成30年3月～平成31年2月診療分)

順位	疾病分類(大分類)	医療費(円)	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	II 新生物<腫瘍>	680,586,025	18.4%	2,921
2	IX 循環器系の疾患	532,868,234	14.4%	4,706
3	IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	323,726,850	8.7%	5,211
4	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	315,811,589	8.5%	4,254
5	V 精神及び行動の障害	286,849,433	7.7%	1,435
6	X I 消化器系の疾患	283,590,550	7.7%	5,826
7	VI 神経系の疾患	242,507,742	6.5%	2,569
8	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	236,639,201	6.4%	2,354
9	X 呼吸器系の疾患	191,722,445	5.2%	4,910
10	VII 眼及び付属器の疾患	139,117,339	3.8%	3,410
11	X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	120,737,273	3.3%	2,017
12	I 感染症及び寄生虫症	117,401,385	3.2%	3,192
13	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	76,300,606	2.1%	3,073
14	X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	67,529,637	1.8%	2,405
15	III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	30,751,130	0.8%	982
16	X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	24,569,858	0.7%	774
17	VIII 耳及び乳様突起の疾患	14,948,256	0.4%	819
18	X V 妊娠、分娩及び産じょく	7,989,458	0.2%	67
19	X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	5,824,703	0.2%	115
20	X VI 周産期に発生した病態	5,290,683	0.1%	25
21	分類外	147,392	0.0%	21

中分類による疾病別医療費統計

生活習慣病にかかる医療費と患者数について、上位5疾病は以下のとおりです。

※中分類…疾病罹患の状況を概括できるようにした疾病分類表に基づく分類。

中分類による疾病別統計(医療費上位5疾病)(平成30年3月～平成31年2月診療分)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	223,595,062	6.0%	1,119
2	0903 その他の心疾患	165,614,840	4.5%	1,487
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害 及び妄想性障害	161,171,689	4.4%	515
4	1402 腎不全	155,338,547	4.2%	249
5	0901 高血圧性疾患	151,237,484	4.1%	3,537

中分類による疾病別統計(患者数上位5疾病)(平成30年3月～平成31年2月診療分)

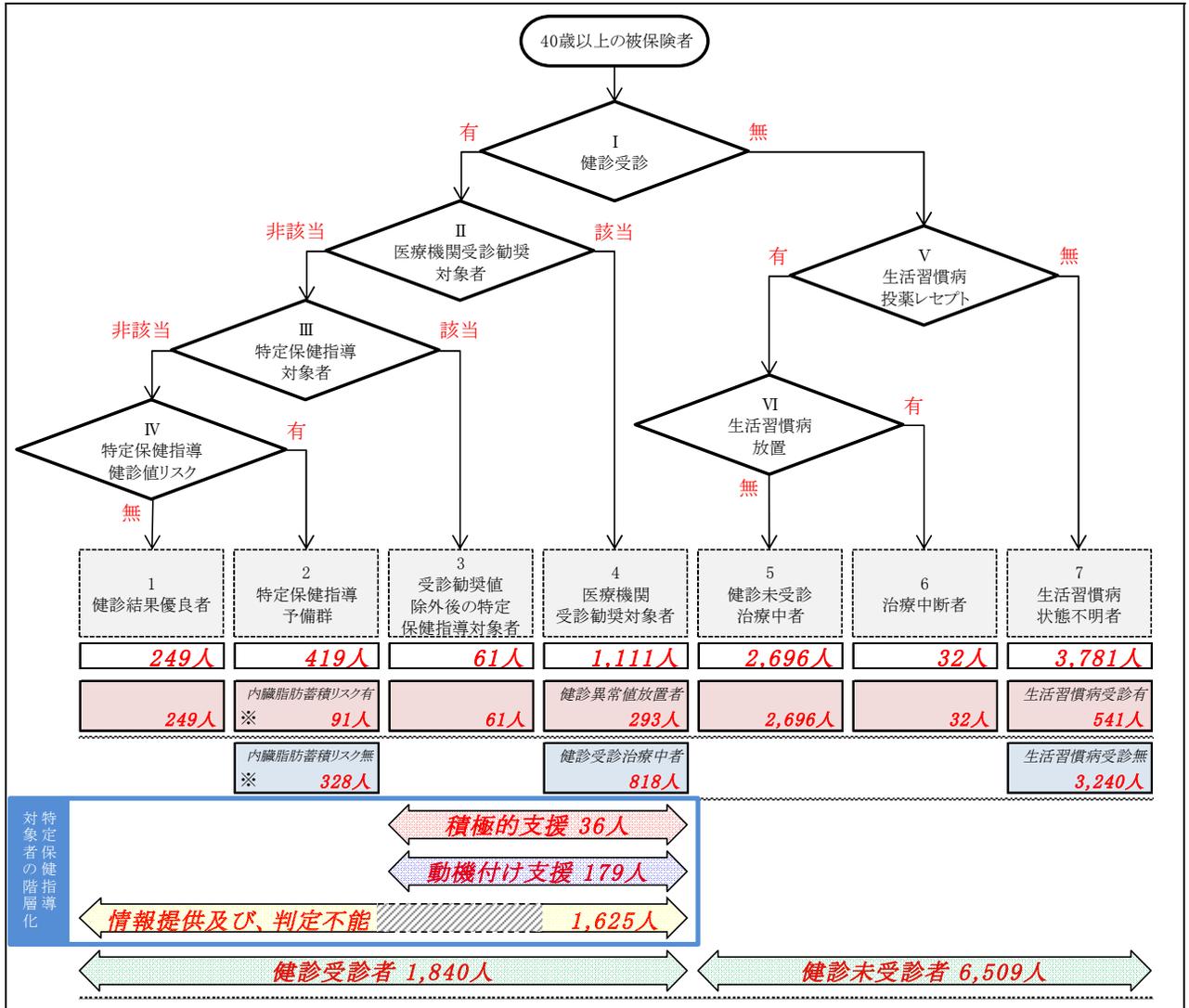
順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	151,237,484	3,537	35.5%
2	0403 脂質異常症	102,417,692	3,430	34.4%
3	0402 糖尿病	149,272,605	3,132	31.4%
4	1113 その他の消化器系の疾患	142,171,059	2,935	29.4%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	44,733,068	2,852	28.6%

保健事業実施に係る分析結果

40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類しました。

医療機関受診勧奨対象者のうち、健診受診後に医療機関を受診していない「健診異常値放置者」は293人、健診未受診者のうち生活習慣病の治療を中断している「治療中断者」は32人となっています。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析(平成30年3月～平成31年2月診療分, 平成30年4月～平成31年3月健診分)



【グループ別説明】

健診受診あり

- 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 医療機関受診勧奨対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

健診受診なし

- 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

受診行動適正化に係る分析

12カ月間で重複受診者は83人、頻回受診者は228人、重複服薬者は216人存在しています。

医療機関受診状況
(平成30年3月～平成31年2月診療分)

重複受診者 ※	83人
頻回受診者 ※	228人
重複服薬者 ※	216人

※**重複受診者数**…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

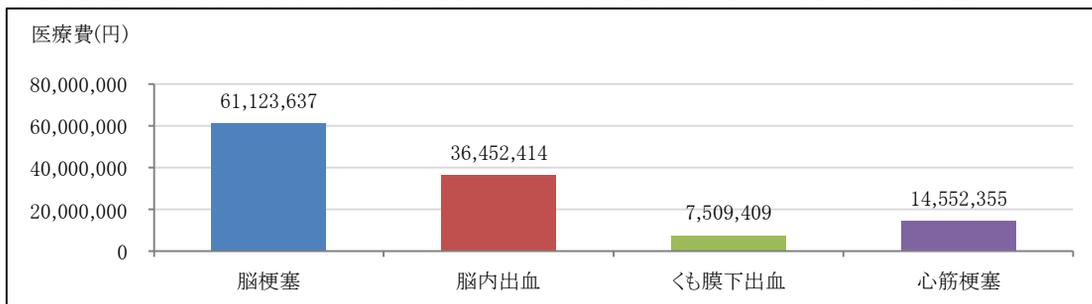
※**頻回受診者数**…1カ月間に15回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

※**重複服薬者数**…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

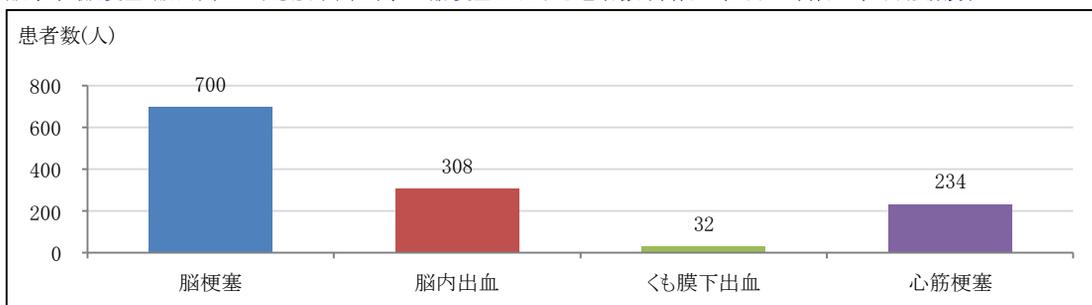
脳卒中・心筋梗塞に係る分析

脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられます。また、脳卒中・心筋梗塞においては再発率が高く、治療完了後の生活習慣の改善が必要となります。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費(平成30年3月～平成31年2月診療分)



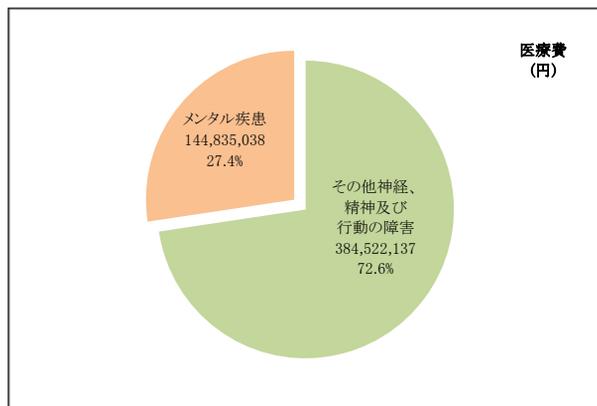
脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数(平成30年3月～平成31年2月診療分)



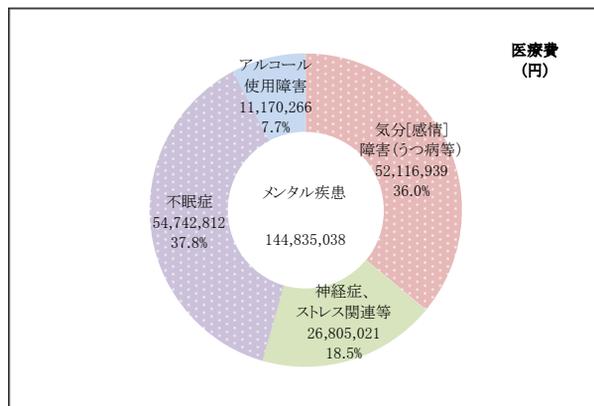
メンタル疾患に係る分析

医療費全体における「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」の割合は14.3%であった。このうち“メンタル疾患”の割合を集計すると27.4%であった。(※)「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」が多くを占めており、対策が必要な疾病であると考えられる。

神経、精神及び行動の障害におけるメンタル疾患の割合
(平成30年3月～平成31年2月診療分)



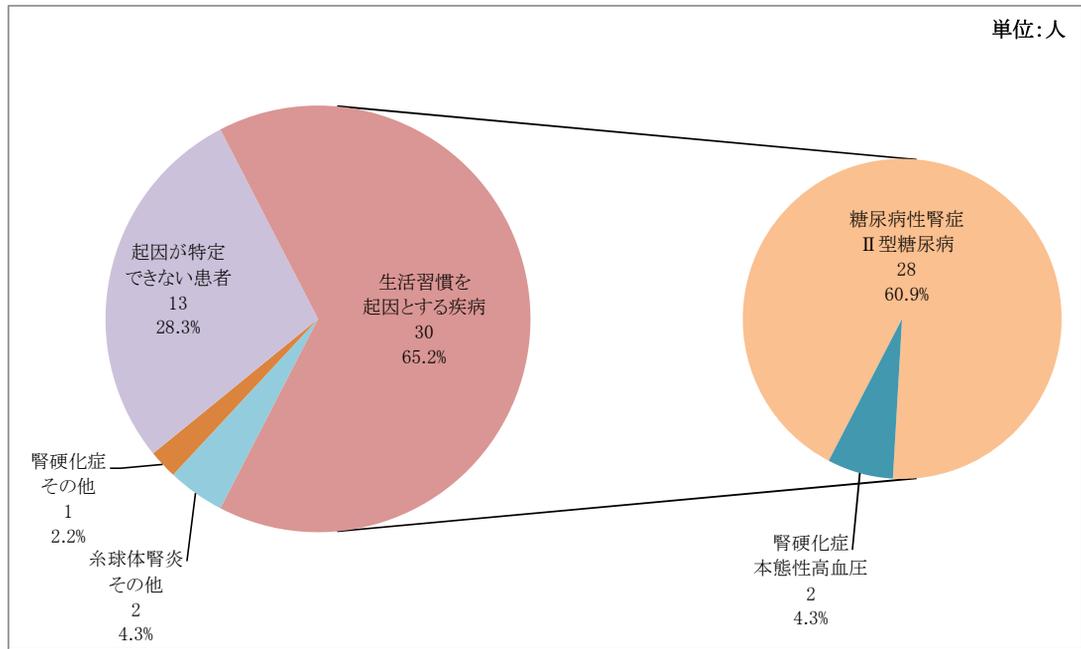
メンタル疾患の医療費割合
(平成30年3月～平成31年2月診療分)



糖尿病性腎症に係る分析

倉吉市の人工透析患者の分析を行い、起因が明らかとなった患者のうち、65.2%が生活習慣を起因とするものであり、その60.9%が糖尿病を起因として透析となる糖尿病性腎症であることが分かりました。

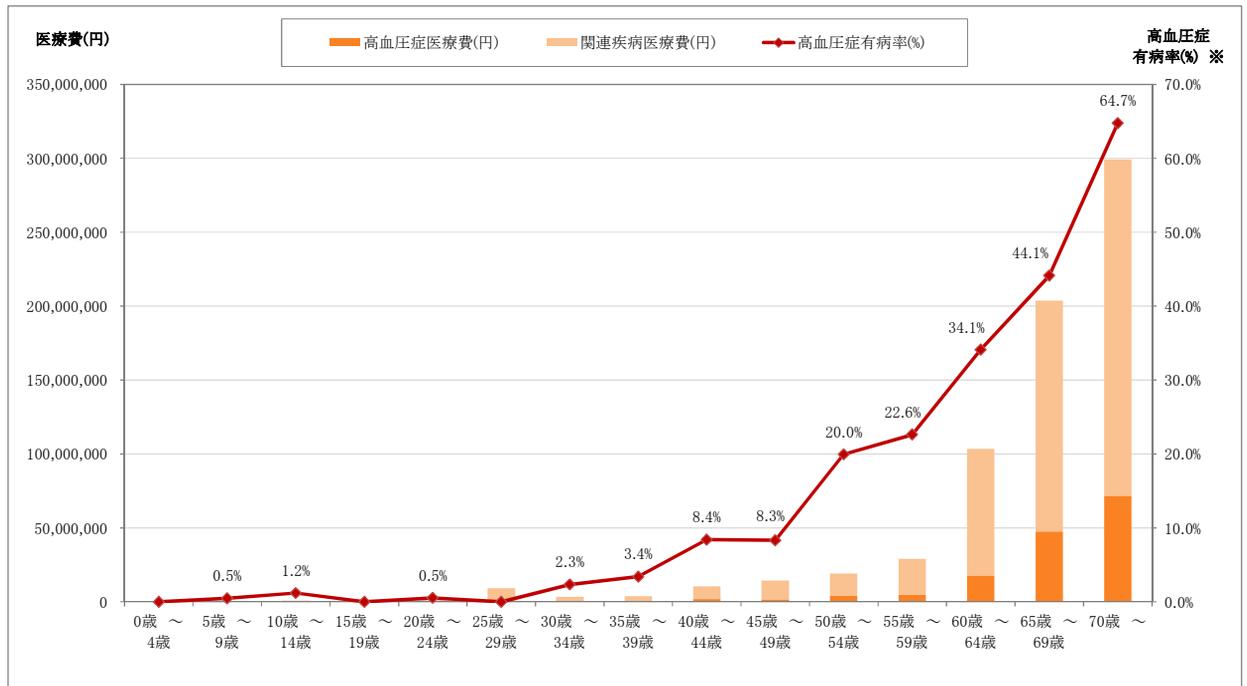
人工透析患者に対する分析(平成30年3月～平成31年2月診療分)



高血圧性疾患に係る分析

倉吉市の高血圧性疾患の分析を行い、特に高齢層において患者数が増え医療費も増大する傾向にある事が分かりました。

年齢階層別 高血圧症の医療費及び有病率(平成30年3月～平成31年2月診療分)



※高血圧症有病率…被保険者数に占める高血圧症患者数の割合。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る分析

COPD患者の実態と潜在患者について以下の通りです。日本においてCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されています。一方、倉吉市国民健康保険の被保険者を対象に平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は96人でした。日本における治療中患者と潜在患者の比率を参考に、倉吉市国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は1,920人程度と想定されます。

COPDに関する分析(平成30年3月～平成31年2月診療分)

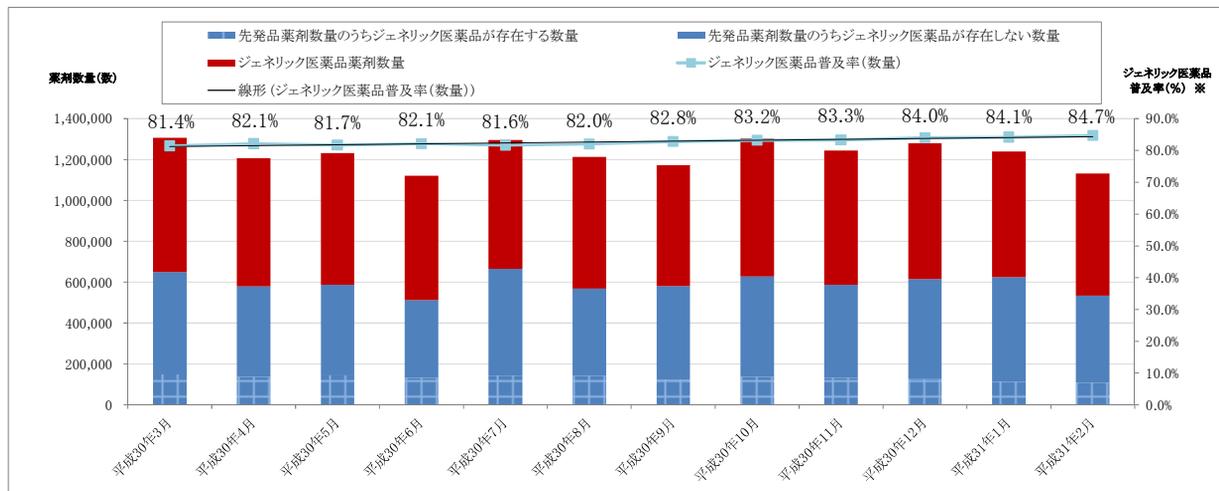
対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
倉吉市国民健康保険 被保険者	100人 内訳:男性73人 (73%) 女性27人 (27%)	推定2,000人

ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

以下は、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を示したものです。現在ジェネリック医薬品普及率は、82.7%(数量ベース)となっています。

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

令和元年度 倉吉市国民健康保険
ポテンシャル分析 概要版

令和2年 3月

【発行】 鳥取県 倉吉市

【編集】 倉吉市 健康福祉部 保険年金課

(住所) 〒680-8571
鳥取県倉吉市堺町二丁目253番地1
倉吉市役所第2庁舎

(電話) 0858-22-8151